

5 不同意性交等をされた被害経験

(1) 不同意性交等をされた被害経験の有無

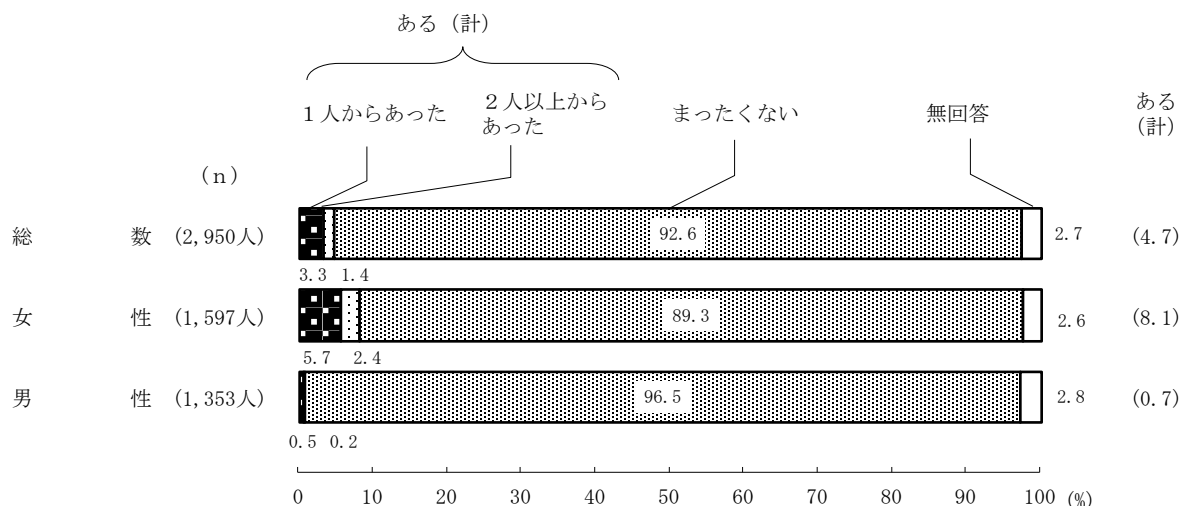
これまでに、相手の性別を問わず、不同意性交等（性交、肛門性交、口腔性交、又は膣・肛門に身体の一部もしくは物を挿入する行為）をされたことがあるかを聞いたところ、「1人からあった」が3.3%、「2人以上からあった」が1.4%で、被害経験のある人は4.7%となっている。

性別にみると、被害経験のある女性は8.1%、男性は0.7%となっている。（図5-1-1）

子供の頃も含めて、これまでの経験についてお聞きします。

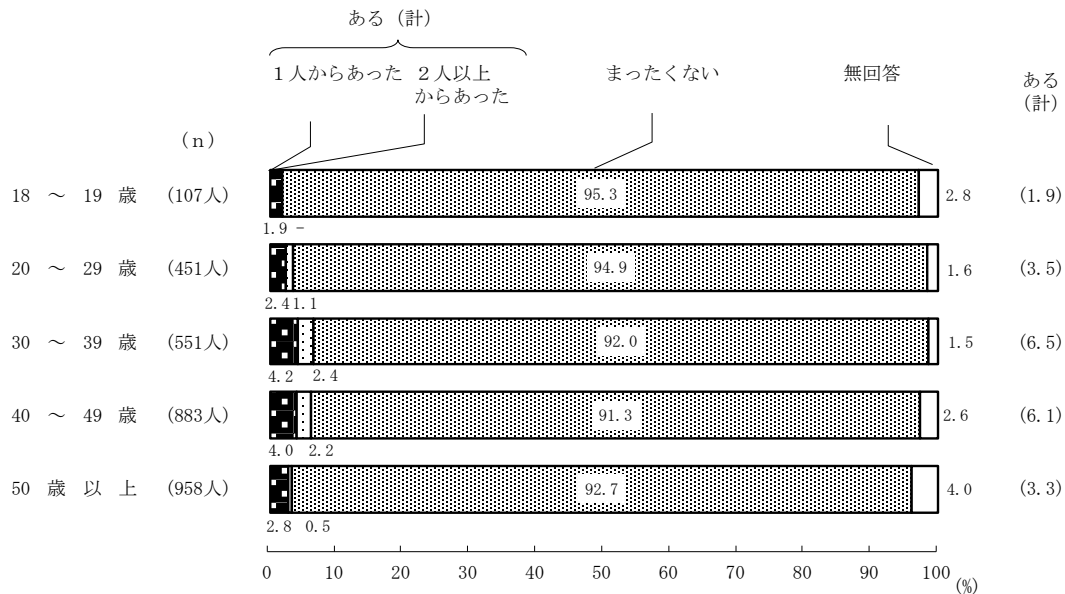
問32 あなたはこれまでに、相手の性別を問わず、あなたの同意がないにもかかわらず、性交等（性交、肛門性交、口腔性交、又は膣・肛門に身体の一部もしくは物を挿入する行為）をされたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

図5-1-1 不同意性交等をされた被害経験の有無



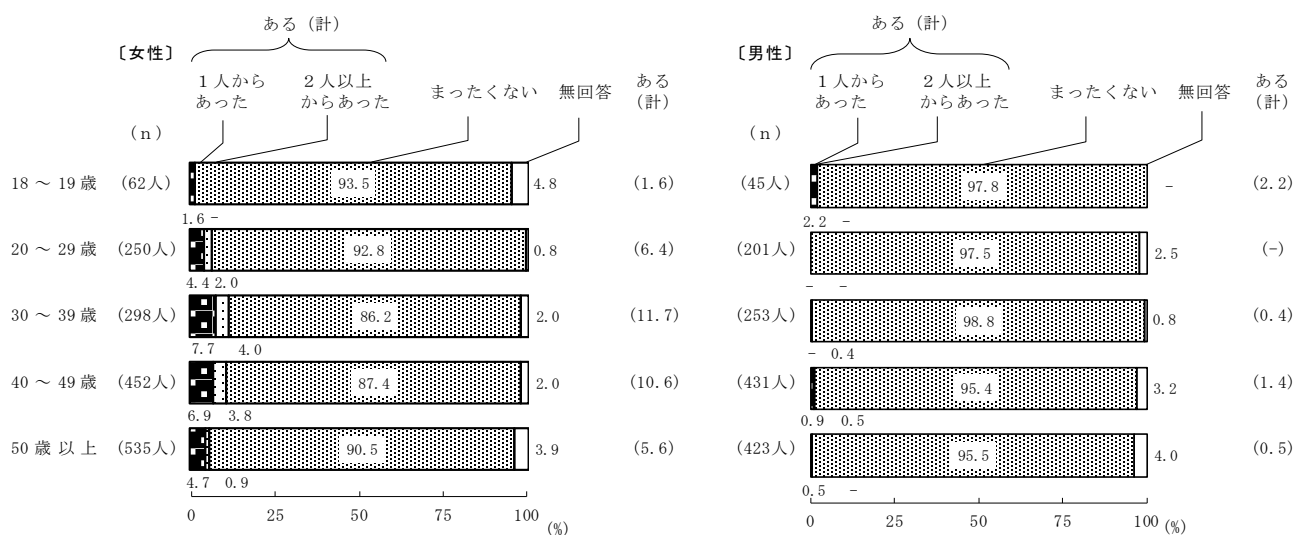
年齢階級別にみると、不同意性交等の被害経験が『ある（計）』という人は、30～39歳と40～49歳で6.0%以上となっている。（図5-1-2）

図5-1-2 不同意性交等をされた被害経験の有無（年齢階級別）



性・年齢階級別にみると、不同意性交等の被害経験が『ある（計）』という人は、女性の30～39歳で11.7%、40～49歳で10.6%と1割を超えている。（図5-1-3）

図5-1-3 不同意性交等をされた被害経験の有無（性・年齢階級別）



(2) 加害者との関係

不同意性交等の被害経験がある人（140人）に、加害者との関係を聞いたところ、「交際相手」と「元交際相手」がそれぞれ16.4%で最も多く、次いで「職場・アルバイト先の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手など）」（10.0%）、「配偶者（事実婚や別居中を含む）」（8.6%）、「通っていた（いる）学校・大学の生徒・学生など」（8.6%）などとなっている。

性別に見ると、女性・男性ともに「交際相手」（女性16.2%、男性20.0%）と「元交際相手」（女性16.2%、男性20.0%）が最も多い。（図5-2-1）

問33 加害者はあなたとどのような関係でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。2人以上から被害にあった方については、すべての被害についてお答えください。（○はいくつでも）

図5-2-1 加害者との関係（複数回答）

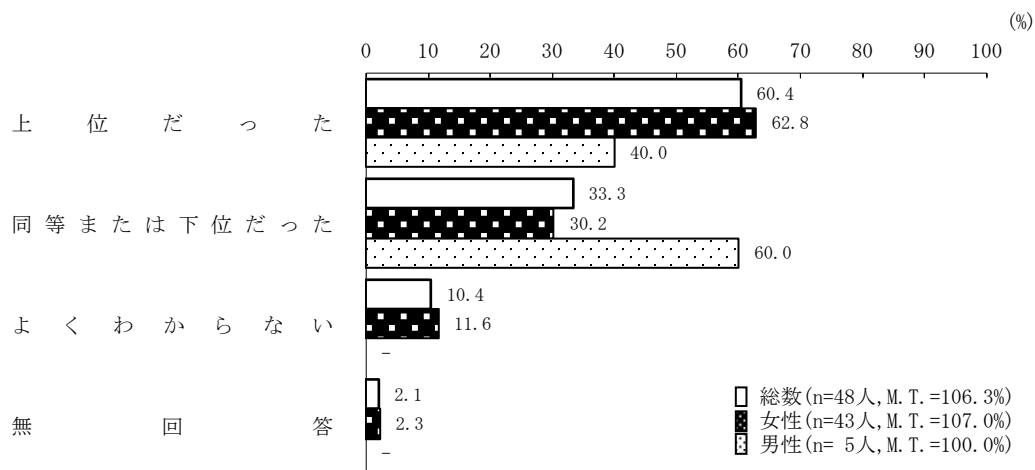


*「上記以外の親戚」とは、下記以外の親戚を指す。
 1. 配偶者（事実婚や別居中を含む） 2. 元配偶者（事実婚を解消した者を含む）
 3. 親（養親・継親を除く） 4. 養親・継親又は親の交際相手 5. 兄弟姉妹（義理の兄弟姉妹も含む）

加害者が親族や交際相手以外だった人（48人）に加害者の立場について聞いたところ、「上位だった」が60.4%となっている。（図5-2-2）

問33-1 加害者は自分よりも社会的な地位、職務上の地位、その他人間関係などにおいて上位な立場にある者（職場・アルバイト先の上司や先輩、取引先の相手、学校・大学の教職員や先輩、クラブ活動や習い事の指導者や先輩など関係が優位な立場にある者）でしたか。
 （○はいくつでも）

図5-2-2 加害者との上下関係（複数回答）



加害者の性別を聞いたところ、「異性」が92.9%、「同性」が2.1%となっている。(表5-2-1)

問 33-2 また、加害者の性別はどちらでしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
(○はいくつでも)

表 5-2-1 加害者の性別 (複数回答)

(不同意性交等をされた被害を受けたことがある人) (%)

	総数	女	男
n	140	130	10
異性	92.9	95.4	60.0
同性	2.1	-	30.0
よくわからない	-	-	-
無回答	5.0	4.6	10.0
延回答 (計)	100.0	100.0	100.0

加害者との関係を加害者の性別でみると、「通っていた (いる) 学校・大学の生徒・学生など」、「生活していた (いる) 施設の他の入所者など」、「まったく知らない人」では「同性」からの被害もある。

(表 5-2-2)

表 5-2-2 加害者の性別 (加害者との関係・複数回答)

(不同意性交等をされた被害を受けたことがある人)

(%)

	総数	異性	同性	よくわからない	無回答	延回答 (計)
n	140	92.9	2.1	-	5.0	100.0
配偶者 (事実婚や別居中を含む)	12	100.0	-	-	-	100.0
元配偶者 (事実婚を解消した者を含む)	11	90.9	-	-	9.1	100.0
親 (養親・継親を除く)	3	100.0	-	-	-	100.0
養親・継親又は親の交際相手	2	50.0	-	-	50.0	100.0
兄弟姉妹 (義理の兄弟姉妹も含む)	4	75.0	-	-	25.0	100.0
上記以外の親戚	3	100.0	-	-	-	100.0
交際相手	23	100.0	-	-	-	100.0
元交際相手	23	95.7	-	-	4.3	100.0
職場・アルバイト先の関係者 (上司、同僚、部下、取引先の相手など)	14	100.0	-	-	-	100.0
職場・アルバイト先の客	4	100.0	-	-	-	100.0
通っていた (いる) 学校・大学の教職員、クラブ活動などの指導者・スタッフ	5	100.0	-	-	-	100.0
通っていた (いる) 学校・大学の生徒・学生など	12	91.7	8.3	-	-	100.0
地域活動や習い事の指導者・スタッフ	2	100.0	-	-	-	100.0
地域活動や習い事の他の参加者・受講者など	2	100.0	-	-	-	100.0
生活していた (いる) 施設の職員・スタッフ	-	-	-	-	-	-
生活していた (いる) 施設の他の入所者など	2	50.0	50.0	-	-	100.0
SNSなどインターネット上で知り合った人	11	100.0	-	-	-	100.0
医療・福祉関係者	2	100.0	-	-	-	100.0
その他	16	100.0	-	-	-	100.0
まったく知らない人	14	92.9	7.1	-	-	100.0
無回答	7	42.9	-	-	57.1	100.0
延回答	172	93.6	1.7	-	4.7	100.0

(3) 被害にあったときの状況

不同意性交等の被害経験がある人（140人）に、被害にあったときの状況について聞いたところ、「相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかられた」が23.6%と最も多く、次いで『相手から、「何もしない」「変なことはしない」「乱暴しない」などとだまされた』（22.9%）、「相手との関係性（相手と上下関係にある、相手との関係が壊れる、仕事への影響等）から拒否できなかった」（22.9%）、「驚きや混乱等で体が動かなかった」（22.9%）となっている。（図5-3-1）

問 34 被害にあったときの状況について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 （○はいくつでも）

図 5-3-1 被害にあったときの状況（複数回答）

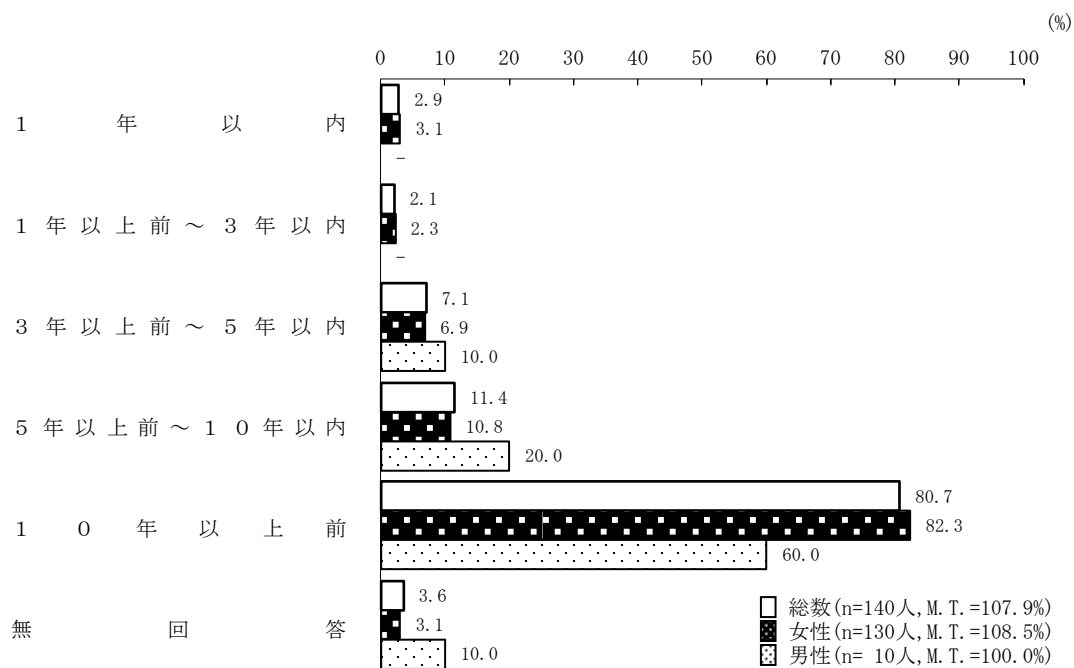


(4) 被害にあった時期

不同意性交等の被害経験がある人（140人）に、その被害にあったのは何年前か聞いたところ、「10年以上前」が80.7%と最も多く、次いで「5年以上前～10年以内」（11.4%）、「3年以上前～5年以内」（7.1%）、「1年以内」（2.9%）、「1年以上前～3年以内」（2.1%）となっている。（図5-4-1）

問35 あなたが被害にあったのは何年前ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
 (○はいくつでも)

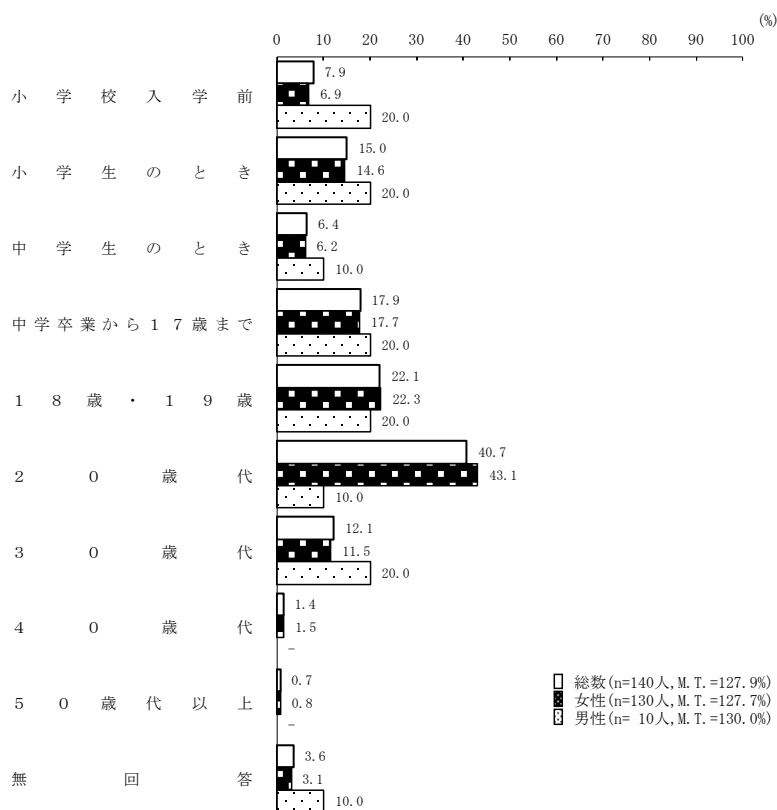
図5-4-1 被害にあった時期（何年前・複数回答）



また、被害にあったのはいくつのときか聞いたところ、「20歳代」が40.7%と最も多く、次いで「18歳・19歳」(22.1%)、「中学卒業から17歳まで」(17.9%)、「小学生のとき」(15.0%)、「30歳代」(12.1%)などとなっている。(図5-4-2)

問35-1 また、被害にあったのはあなたがいくつのときでしたか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

図5-4-2 被害にあった時期(年齢・複数回答)



18歳未満のときに被害にあった人(56人)に、その加害者は監護する者(例:父母等のあなたを監督し保護する者)か聞いたところ、「監護する者」が7.1%、「監護する者以外」が91.1%となっている。(表5-4-1)

問35-2 あなたが18歳未満のときにあった被害について、その加害者はあなたを監護する者(例:父母等のあなたを監督し保護する者)でしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

表5-4-1 監護者からの被害経験(複数回答)

(18歳未満のとき被害があった人)	(%)		
	総数	女	男
n	56	50	6
監護する者	7.1	6.0	16.7
監護する者以外	91.1	94.0	66.7
無回答	3.6	2.0	16.7
延回答数(計)	101.8	102.0	100.0

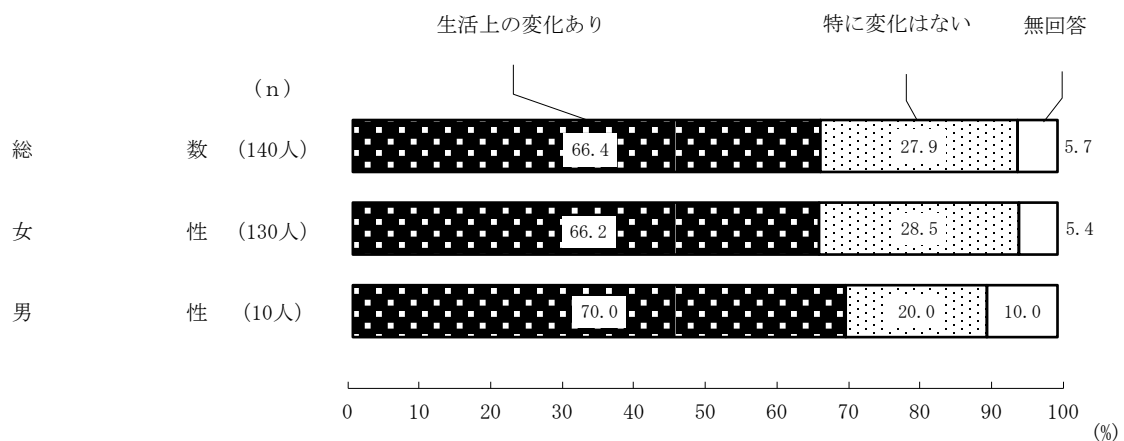
(5) 生活上の変化

不同意性交等をされた被害があった人（140人）に、その被害による生活上の変化を聞き、何らかの変化があったと回答した人を『生活上の変化あり』としてまとめた。

『生活上の変化あり』は、66.4%で、女性が66.2%、男性が70.0%となっている。（図5-5-1）

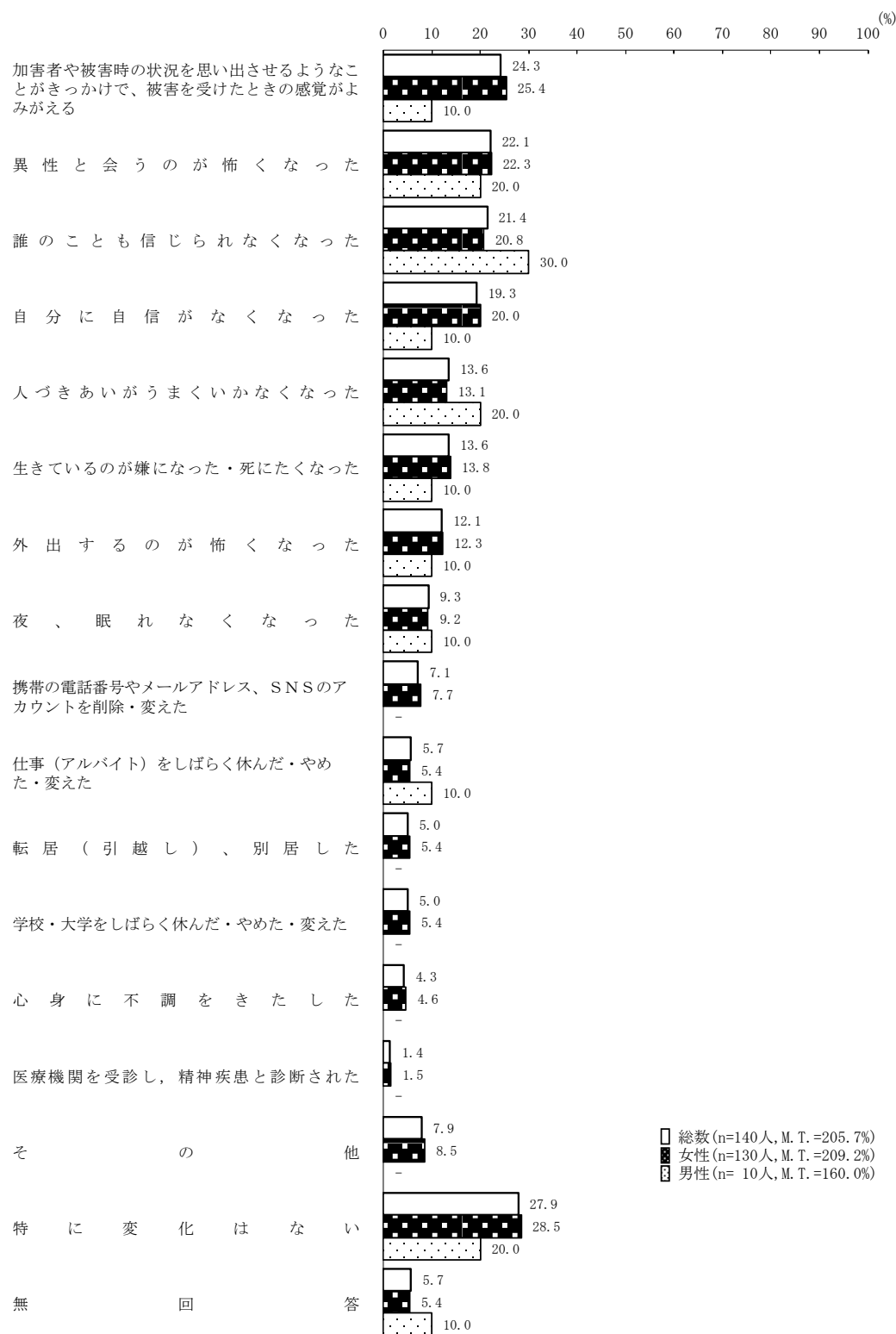
問36 あなたは、これまでに受けた被害によって、生活が変わりましたか。
 あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-5-1 不同意性交等をされた被害による生活上の変化の有無



生活上の変化の内容をみると、「加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる」(24.3%)が最も多く、次いで「異性と会うのが怖くなった」(22.1%)、「誰のことも信じられなくなった」(21.4%)、「自分に自信がなくなった」(19.3%)などとなっている。(図5-5-2)

図5-5-2 不同意性交等をされた被害による生活上の変化(複数回答)



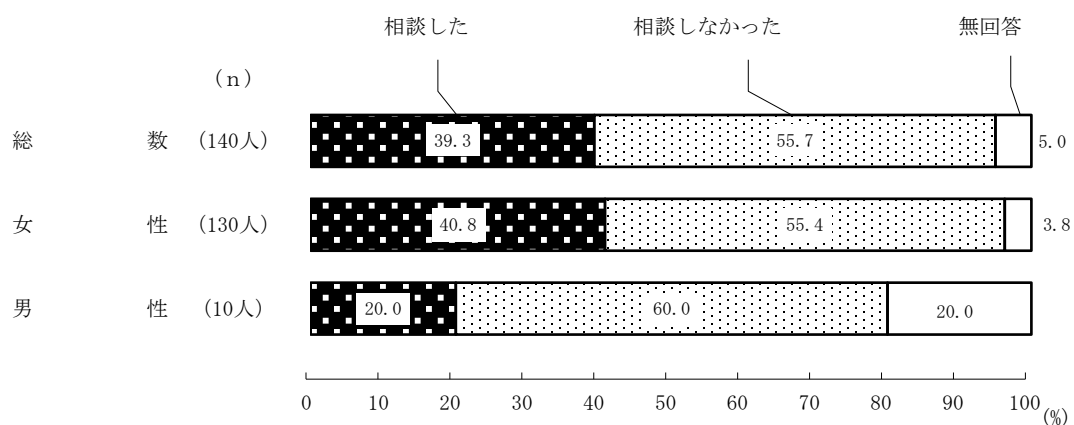
(6) 不同意性交等をされた被害の相談経験

不同意性交等をされた被害があった人（140人）に、その被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしたかを聞き、いずれかの相談先を回答した人の合計を『相談した』としてまとめた。

『相談した』が39.3%で、女性が40.8%、男性が20.0%となっている。（図5-6-1）

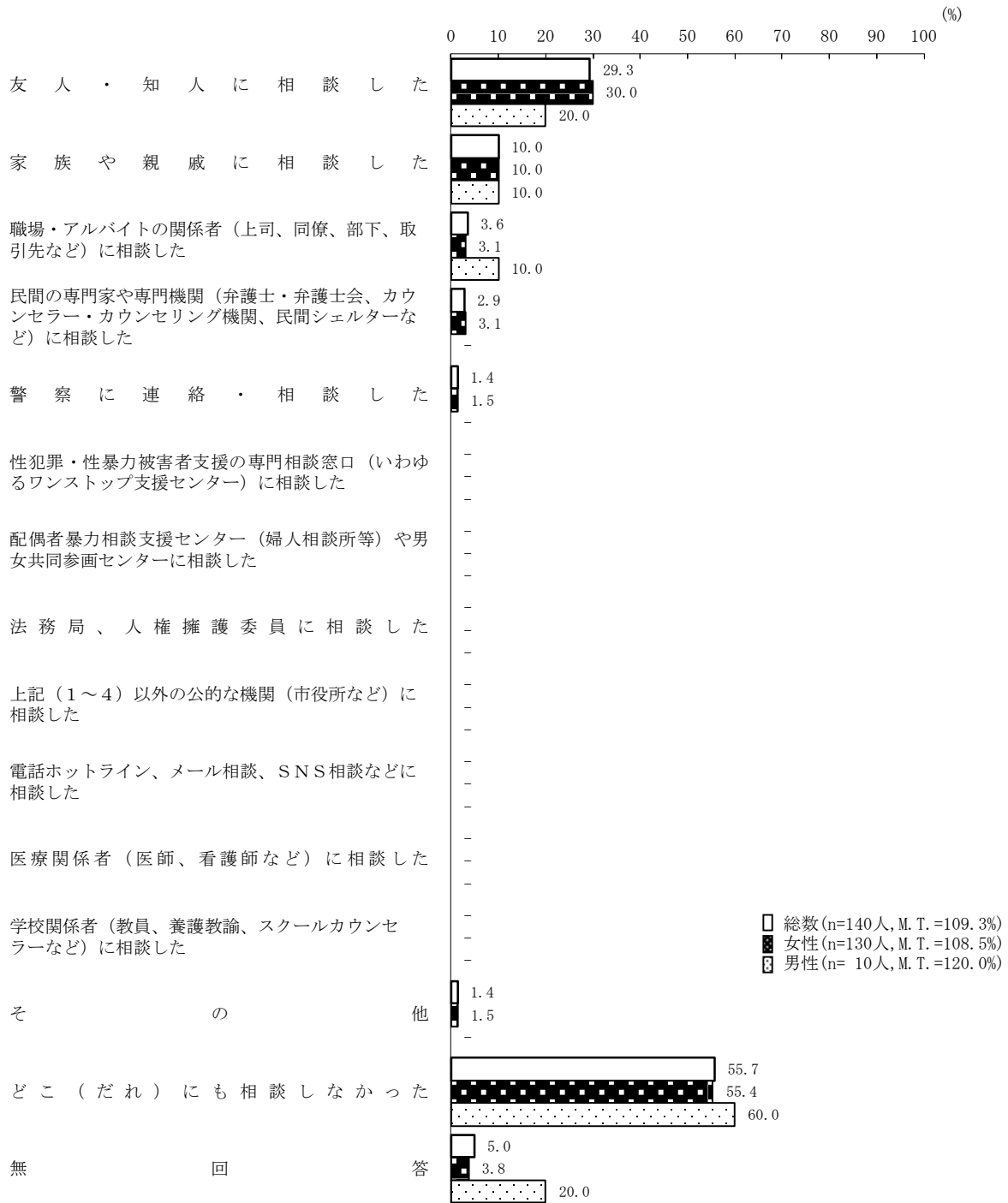
問37 あなたはこれまでの被害について、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。
あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-6-1 不同意性交等をされた被害の相談の有無



相談先をみると、「友人・知人に相談した」が29.3%と最も多く、次いで「家族や親戚に相談した」(10.0%)などとなっている。また、「どこ(だれ)にも相談しなかった」が55.7%となっている。(図5-6-2)

図5-6-2 不同意性交等をされた被害の相談先(複数回答)

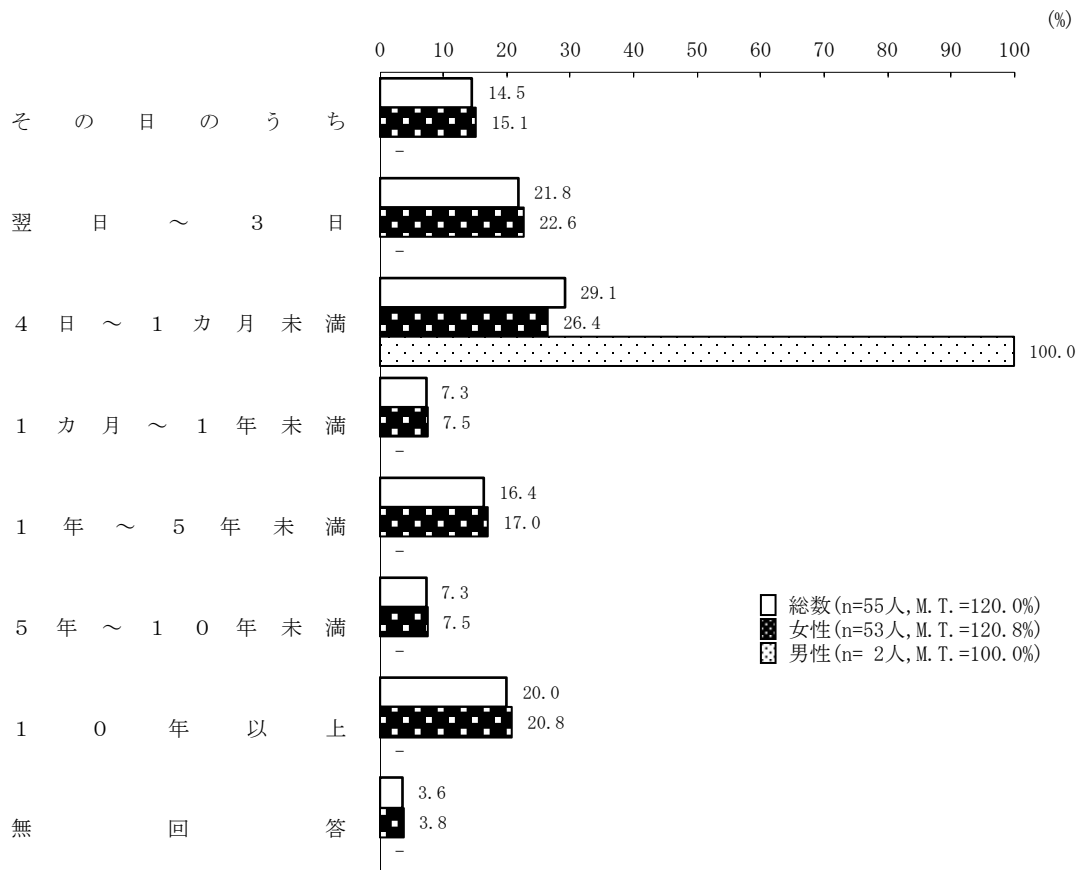


*「上記(1~4)以外の公的な機関」とは、下記以外の公的な機関を指す。
 1. 性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口(いわゆるワンストップ支援センター)
 2. 配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所等)や男女共同参画センター
 3. 警察
 4. 法務局、人権擁護委員

不同意性交等をされた被害をだれかに打ち明けたり、相談したりした人（55人）に、被害にあってから相談したりするまでの期間について聞いたところ、「4日～1カ月未満」が29.1%と最も多く、次いで「翌日～3日」（21.8%）、「10年以上」（20.0%）となっている。（図5-6-3）

問37-1 被害にあってから、だれかに打ち明けたり、相談したりするまでの期間はだいたいどれくらいでしたか。これまでの被害について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-6-3 被害にあってから相談までの期間（複数回答）

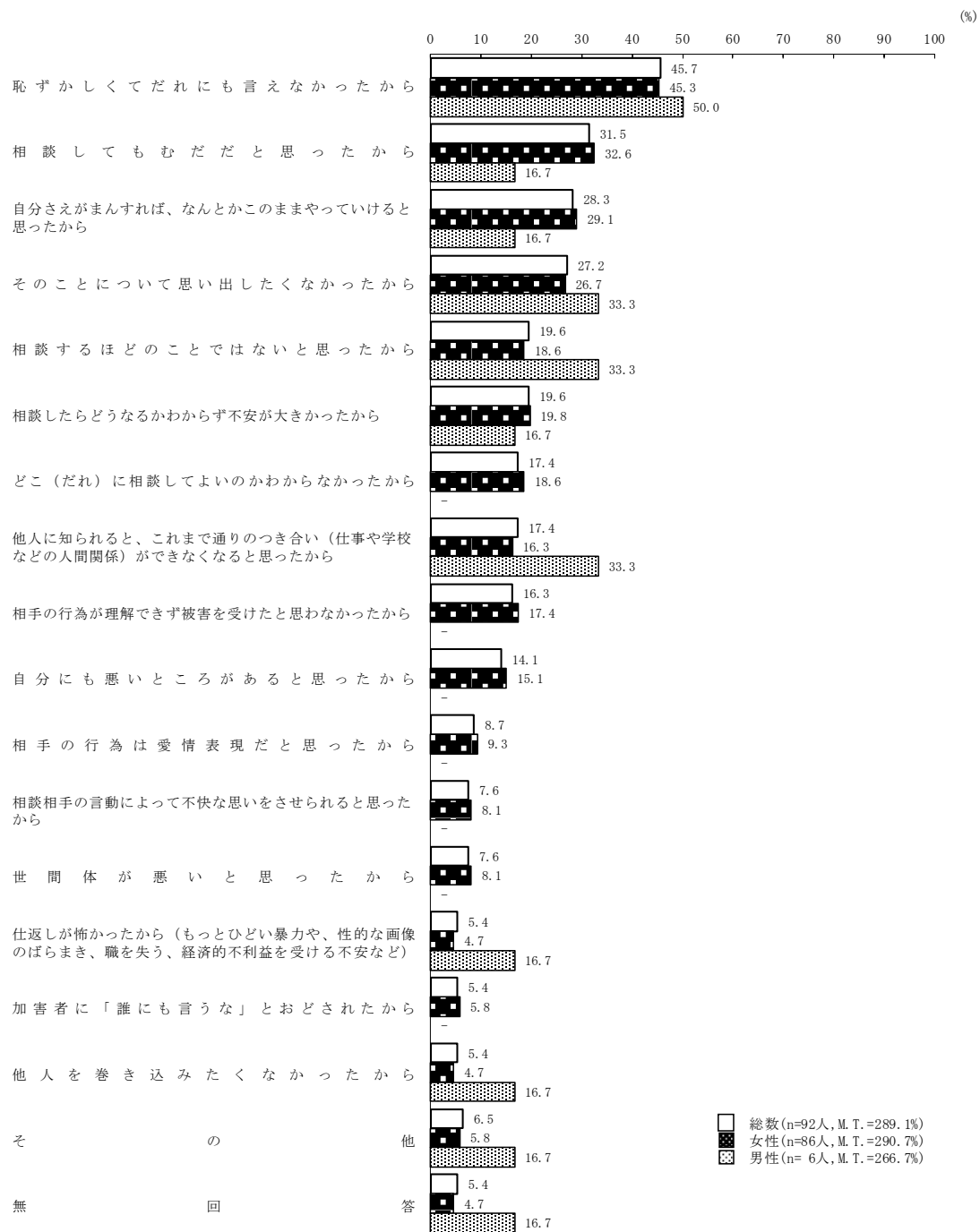


(7) 相談しなかった・相談までの期間が5年以上となった理由

不同意性交等をされた被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」または「相談までの期間が5年以上となった」という人（92人）に、その理由を聞いたところ、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」が45.7%と最も多く、次いで「相談してもむだだと思ったから」（31.5%）、「自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから」（28.3%）などとなっている。（図5-7-1）

問 37-2 どこ（だれ）にも相談しなかった、または、相談までの期間が5年以上となったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-7-1 相談しなかった・相談までの期間が5年以上となった理由（複数回答）



不同意性交等をされた被害について、「どこ（だれ）にも相談しなかった」人（78人）の相談しなかった理由をみると、「恥ずかしくだれにも言えなかったから」を半数の人があげていた。

（表 5-7-1）

表 5-7-1 相談しなかった理由（複数回答）

（どこ（だれ）にも相談しなかった人）

	総数	女	男
n	78	72	6
どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	16.7	18.1	-
恥ずかしくだれにも言えなかったから	50.0	50.0	50.0
相談してもむだだと思ったから	32.1	33.3	16.7
相談するほどのことではないと思ったから	23.1	22.2	33.3
相談したらどうなるかわからず不安が大きかったから	19.2	19.4	16.7
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	5.1	5.6	-
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	29.5	30.6	16.7
自分にも悪いところがあると思ったから	14.1	15.3	-
そのことについて思い出したくなかったから	24.4	23.6	33.3
仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまき、職を失う、経済的不利益を受ける不安など）	5.1	4.2	16.7
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	3.8	4.2	-
世間体が悪いと思ったから	6.4	6.9	-
他人を巻き込みたくなかったから	5.1	4.2	16.7
他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	15.4	13.9	33.3
相手の行為は愛情表現だと思ったから	7.7	8.3	-
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	11.5	12.5	-
その他	6.4	5.6	16.7
無回答	3.8	2.8	16.7
延回答	279.5	280.6	266.7

相談までの期間について「5年～10年未満」「10年以上」を選択した人（14人）の相談までの期間が5年以上となった理由をみると、「そのことについて思い出したくなかったから」「相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから」が多かった。（表 5-7-2）

表 5-7-2 相談までの期間が5年以上となった理由（複数回答）

（相談までの期間が「5年～10年未満」「10年以上」の人）

	総数	女	男
n	14	14	-
どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから	21.4	21.4	-
恥ずかしくだれにも言えなかったから	21.4	21.4	-
相談してもむだだと思ったから	28.6	28.6	-
相談するほどのことではないと思ったから	-	-	-
相談したらどうなるかわからず不安が大きかったから	21.4	21.4	-
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	21.4	21.4	-
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	21.4	21.4	-
自分にも悪いところがあると思ったから	14.3	14.3	-
そのことについて思い出したくなかったから	42.9	42.9	-
仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまき、職を失う、経済的不利益を受ける不安など）	7.1	7.1	-
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	14.3	14.3	-
世間体が悪いと思ったから	14.3	14.3	-
他人を巻き込みたくなかったから	7.1	7.1	-
他人に知られると、これまで通りのつき合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから	28.6	28.6	-
相手の行為は愛情表現だと思ったから	14.3	14.3	-
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	42.9	42.9	-
その他	7.1	7.1	-
無回答	14.3	14.3	-
延回答	342.9	342.9	-

(8) 被害にあった場所

不同意性交等の被害経験がある人（140人）に、被害にあった際の場所を聞いたところ、「自宅」が32.9%で最も多く、次いで「加害者の家」（28.6%）、「ホテル」（15.7%）、「自動車のなか」（12.9%）などとなっている。（図5-8-1）

問38 被害にあった際の場所はどこでしたか。これまでの被害について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

図5-8-1 被害にあった場所（複数回答）

